

# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	特別養護老人ホーム 清寿園 新築	階数	地上3F
建設地	埼玉県春日部市	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、防火地域指定なし	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所、病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年1月 予定	評価の実施日	2020年9月1日
敷地面積	(仮想敷地)7200.14㎡	作成者	株式会社設計
建築面積	2,081㎡	確認日	2020年9月1日
延床面積	5,005㎡	確認者	株式会社設計



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	高効率空調機、LED照明を採用することにより、設備システムの高効率化に努めた。	その他 特になし
<b>Q1 室内環境</b>	内装材料のほぼ全面にF☆☆☆☆を採用し、さらにVOCの含有量の少ない建築材料を使用するよう努めた。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 緑地を設けることにより、良好な景観を形成した。
<b>LR1 エネルギー</b>	断熱材を強化し、建物の熱負荷抑制に考慮した。	<b>LR3 敷地外環境</b> 光害対策のチェックリストの過半を満たすことにより、光害の抑制に努めた。
<b>Q2 サービス性能</b>	耐久性の高い材料を選定し、更新間隔が長くなるよう配慮した。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	自動水栓、節水型便器を採用し、水資源の保護に配慮した。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**特別養護老人ホーム 清寿園 新築工事**

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>3.0</b>
<b>Q1 室内環境</b>							<b>0.40</b>		<b>-</b>	<b>3.2</b>
<b>1 音環境</b>						<b>2.6</b>	0.15	<b>2.6</b>	1.00	<b>2.6</b>
1.1 室内騒音レベル						<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40	
1.2 遮音						<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40	
1 開口部遮音性能						3.0	0.41	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能						3.0	0.59	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音						<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20	
<b>2 温熱環境</b>						<b>3.0</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>
2.1 室温制御						<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50	
1 室温						3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能						3.0	0.25	3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御						<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.20	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	0.30	
<b>3 光・視環境</b>						<b>3.0</b>	0.25	<b>4.1</b>	1.00	<b>3.1</b>
3.1 昼光利用						<b>4.2</b>	0.30	<b>4.2</b>	0.30	
1 昼光率		共用部分2.5%以上、病室部分1.25%以上				5.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口						-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備						3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策						<b>2.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.30	
1 昼光制御		病室部分はカーテンと庇により制御				2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度						<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15	
3.4 照明制御		病室部分はベッド毎にスイッチを設置				<b>3.0</b>	0.25	<b>5.0</b>	0.25	
<b>4 空気環境</b>						<b>4.1</b>	0.25	<b>4.2</b>	1.00	<b>4.1</b>
4.1 発生源対策						<b>5.0</b>	0.50	<b>5.0</b>	0.63	
1 化学汚染物質		VOCの含有量の少ない建築材料を使用				5.0	1.00	5.0	1.00	
4.2 換気						<b>2.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.38	
1 換気量		病室部分の換気量は1.2倍以上				3.0	0.49	4.0	0.33	
2 自然換気性能		室面積の1/15以上の自然換気有効開口面積を確保				5.0	0.01	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						1.0	0.49	1.0	0.33	
4.3 運用管理						<b>4.9</b>	0.20	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視						3.0	0.02	-	-	
2 喫煙の制御		建物内全面禁煙				5.0	0.98	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>						-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.9</b>
<b>1 機能性</b>						<b>2.8</b>	0.40	<b>3.8</b>	1.00	<b>2.9</b>
1.1 機能性・使いやすさ						<b>2.9</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60	
1 広さ・収納性		個室10㎡/床以上、多床室8㎡/床以上				1.0	0.01	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応						3.0	0.01	3.0	-	
3 バリアフリー計画						3.0	0.97	-	-	
1.2 心理性・快適性						<b>1.0</b>	0.30	<b>2.0</b>	0.40	
1 広さ感・景観						3.0	0.01	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						2.0	0.01	-	-	
3 内装計画						1.0	0.97	1.0	0.50	
1.3 維持管理						<b>4.5</b>	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		内装に維持管理のしやすい建材を採用				5.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		掃除用流しやコンセントの設置など、清掃環境を整備				4.0	0.50	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>						<b>3.1</b>	0.30	-	-	<b>3.1</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振						<b>3.0</b>	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						<b>3.5</b>	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床:ビニル床シート(20年)、壁:ビニルクロス(20年)、天井:ビニルクロス(30年)				5.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		屋外・高湿系ダクトにガルバリウムダクトを採用				4.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水(VLP):B、給湯(SUS):C、排水(VP):B、Eは不使用				5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						<b>2.8</b>	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						2.0	0.20	-	-	

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>2.9</b>	0.30	<b>2.9</b>	1.00	<b>2.9</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>2.8</b>	0.30	<b>2.8</b>	0.50	
1 階高のゆとり			2.0	0.60	2.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ		共用部分:0.1以上0.3未満、病室部分:0.1以上0.3未満	4.0	0.40	4.0	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40		-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.7</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>2.0</b>	0.30	-	-	<b>2.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-		-	<b>3.4</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.5</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		BPI=0.69	<b>5.0</b>	0.20	-	-	<b>5.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>		[BEI][BEIm] = 0.78	<b>3.3</b>	0.50	-	-	<b>3.3</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			3.0	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.4</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.4</b>	0.20	-	-	<b>3.4</b>
1.1 節水		自動水栓、節水型便器を設置	<b>4.0</b>	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.6</b>	0.60	-	-	<b>3.6</b>
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		再生クラッシュラン、集成材、再生アスファルト	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上材(LGS+PB)が容易に分別可能	5.0	0.20	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			<b>3.0</b>	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.3</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		ライフサイクルCO2排出率82%	<b>3.7</b>	0.33	-	-	<b>3.7</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.33	-	-	<b>3.0</b>
2.1 大気汚染防止			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		適切な量の駐車場、駐輪場、導入路を2か所確保	4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.2</b>	0.33	-	-	<b>3.2</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>4.4</b>	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		チェックリストの過半を満たし、屋外広告物照明は行わない	5.0	0.70	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	

# CASBEE埼玉県 重点項目シート






■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	特別養護老人ホーム 清寿園 新	BEE	1.2	BEEランク	★★★
------	-----------------	-----	-----	--------	-----

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
3.7	+	2.6	=	6.3	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上		
					

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO2の削減</b>		スコア平均	3.7
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.7
<配慮した内容を記述> ライフサイクルCO2排出量82%で、温暖化対策に配慮した。			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	2.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
<配慮した内容を記述> 緑地を設けることにより、良好な景観を形成した。			

: 入力欄